

## 第II部 結果

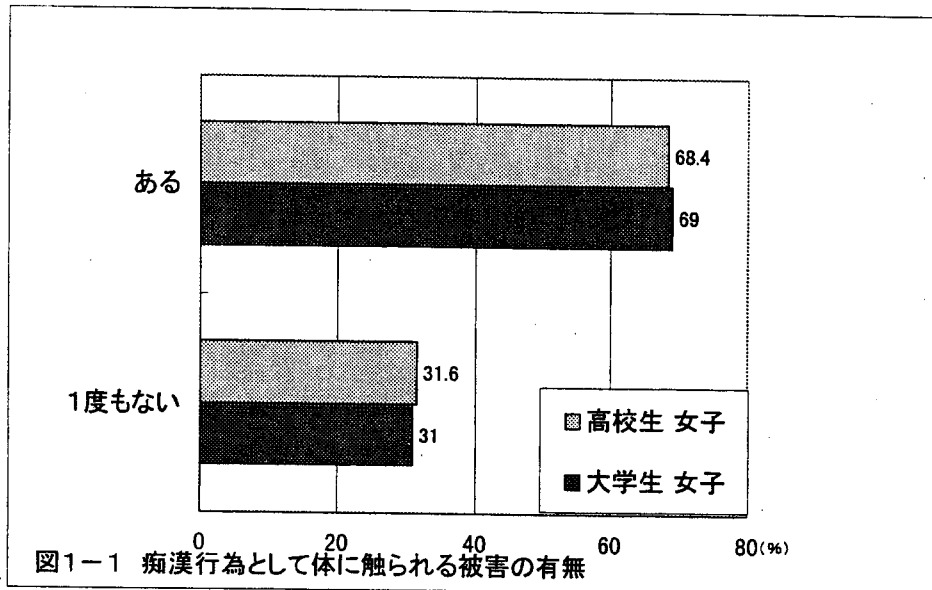
### 第1章 痴漢からの被害の実態—女子からの回答—

#### 1. 体に触られる痴漢被害について

ここでは、高校生女子と大学生女子による回答結果を分析する。

##### ① 痴漢行為として体に触られる被害

痴漢行為として体に触られる被害は、図1-1のように、高校生、大学生のいずれも約7割が受けており、非常に高い割合であるといえよう。なお、高校生と大学生の間に差はみられない。



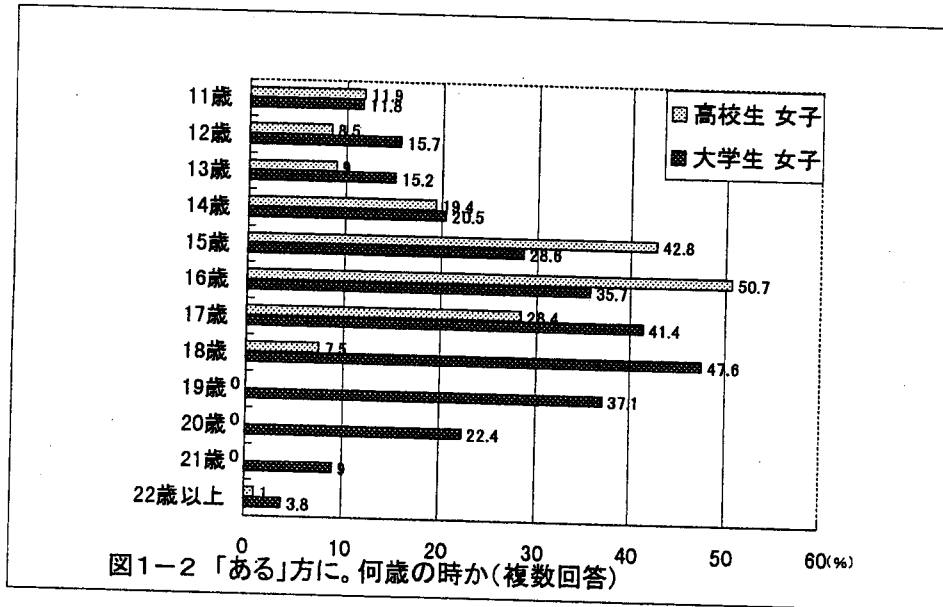
##### ② 体に触られる痴漢被害に遭った時の年齢

体に触られる痴漢被害を受けた時の年齢に関する複数回答の結果は、図1-2のように、高校生では「16歳」(50.7%)と「15歳」(42.8%)がとびぬけて多く、大学生では、「18歳」(47.6%)、「17歳」(41.4%)、「19歳」(37.1%)、「16歳」(35.7%)が多い。高校生と大学生の間には若干のずれが存在する。

現在の大学生が高校生だった頃に比べて、現在の高校生が被害を受ける割合が増加しており、体に触られる痴漢被害を受ける年齢が低下してきていると考えられる。

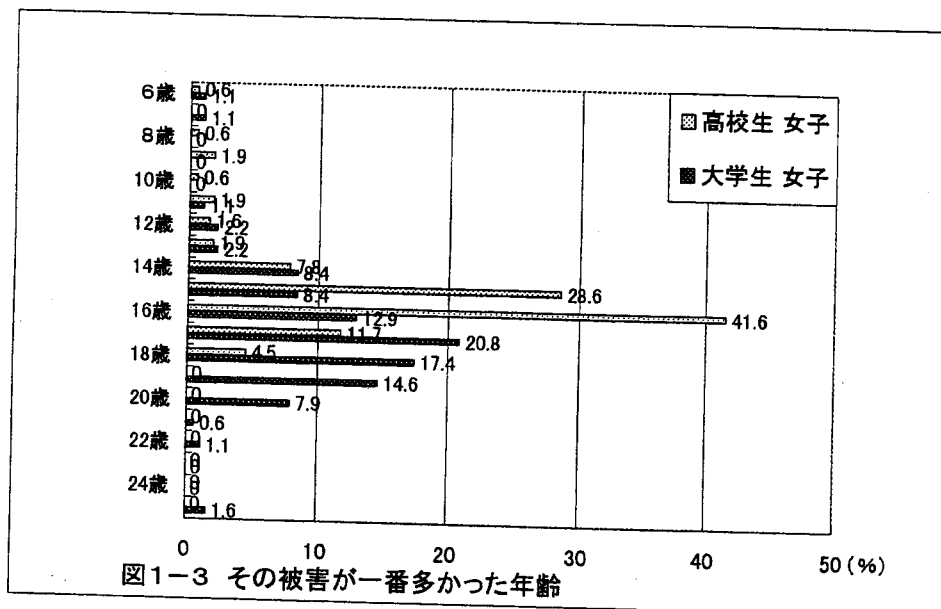
最も被害が多い、現在の高校生が16歳のときと、現在の大学生が18歳のときには、と

もに約半数が被害を受けており、非常に高い割合であるといえる。



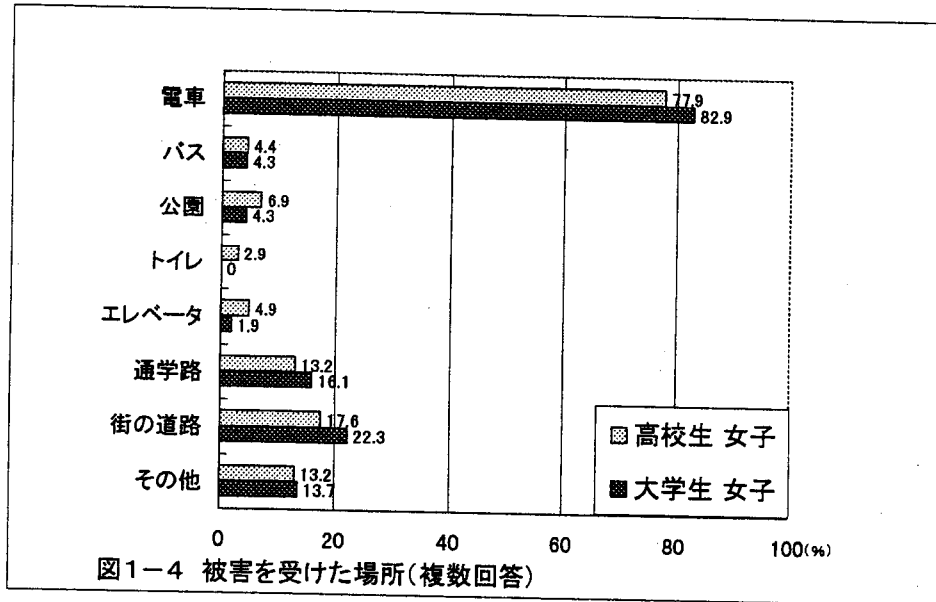
③ 体に触られる痴漢被害が一番多かった年齢

体に触られる痴漢被害が最も多かった年齢は、図1-3のように、高校生では「16歳」(41.6%)と「15歳」(28.6%)で、大学生では「17歳」(20.8%)、「18歳」(17.4%)、「19歳」(14.6%)で被害が多くなっている。図1-2と同様に、体に触られる痴漢被害を受ける年齢の低下傾向が考えられるが、高校生が最も被害を受ける時期をこれから迎える可能性も考えられる。また、総じて14歳以上から被害を受ける割合が目立って増加している。



④ 被害を受けた場所

体に触られる痴漢被害を受けた場所は、複数回答の結果、図1-4のように、高校生、大学生のいずれにおいても「電車」(約8割)で被害を受ける割合が圧倒的に高い。また、「街の道路」や「通学路」で被害を受ける割合は、相対的には少ないが、いずれも2割前後存在している。



⑤ 被害を受けたときの対応

体に触られる痴漢被害を受けたときの対応に関する複数回答の結果は、図1-5のように、「にらみつけた」と「その場をはなれた」がいずれも大学生で5割弱、高校生で4割強存在し、「何もしなかった」がそれに次いで多い。

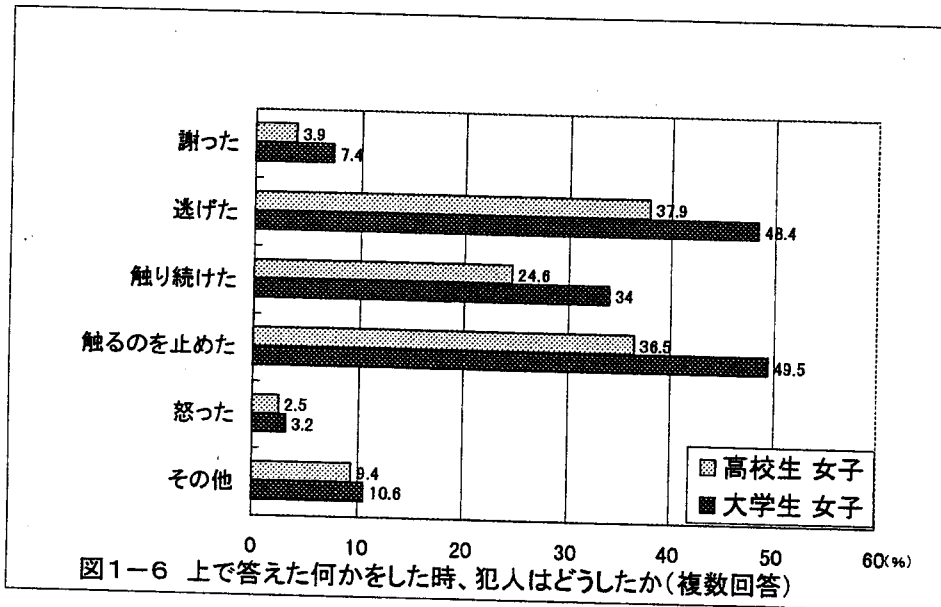
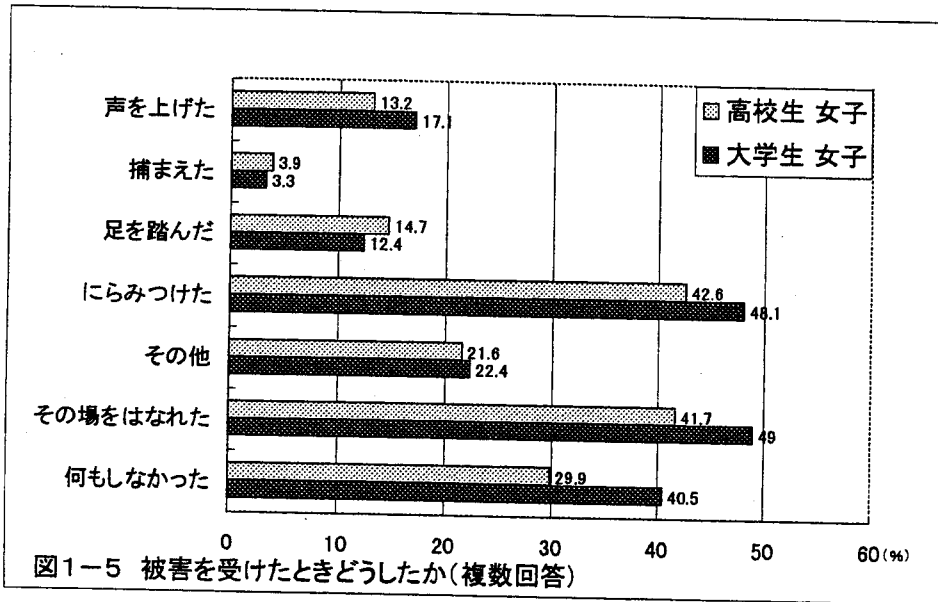
総じて、消極的な行動をとるか行動をしない割合が高く、「声を上げた」と「足を踏んだ」は1割強、「捕まえた」は5%以下にとどまっている。

⑥ 被害を受けたあと、⑤の対応をした時の犯人の反応

体に触られる痴漢被害を受けたあと、⑤の対応をした時の犯人の反応は、図1-6のように、「触るのをやめた」と「逃げた」が大学生で約5割、高校生では約4割と高いが、「触り続けた」も大学生で3割強、高校生で2割強と高めである。また、若干ではあるが、怒るケースも存在している。

複数回答同士であるため、被害を受けたときの対応(図1-5)との関連性はわからな

いが、「触り続けた」は、消極的な対応をした場合の犯人の反応であろうと推察される。

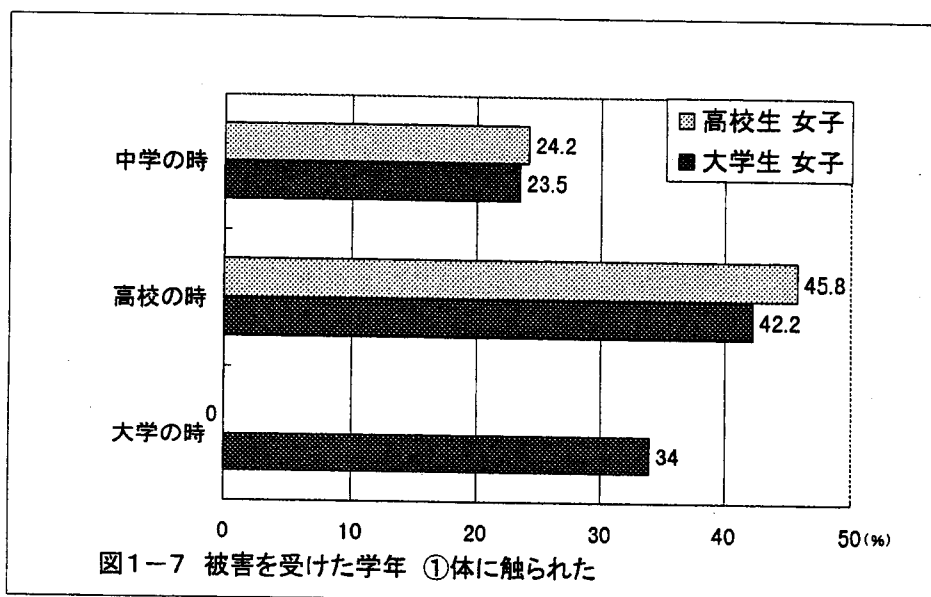


## 2. 各種痴漢行為からの被害の有無

被害を受けたことがある時期に関して、中学、高校、大学の別に複数回答方式で回答を求めた。ただし、高校生の回答は高校時代までに限られる。

### ① 体に触られる被害を受けたことがある時期

体に触られる被害を受けたことがある時期は、図1-7のように、大学生、高校生ともに「高校の時」が4割強で最も多く、1-②の「体に触られる痴漢被害に遭った時の年齢」および1-③の「体に触られる痴漢被害が一番多かった年齢」と対応する結果である。大学生の回答結果によれば、大学生よりも高校生の時に被害が多い傾向がみられる。また、中学の時にも約25%が被害を受けており、低い割合とはいえない。



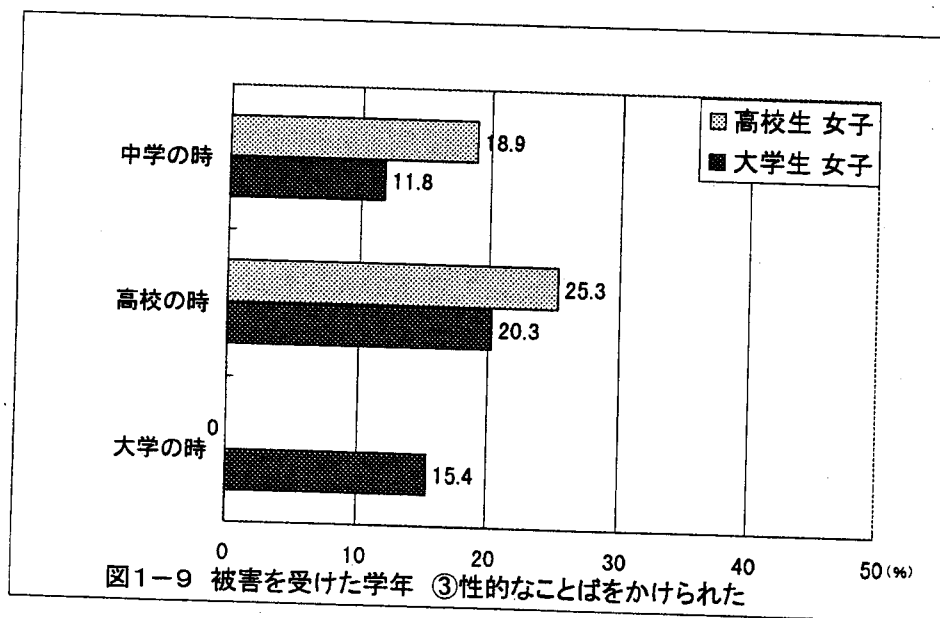
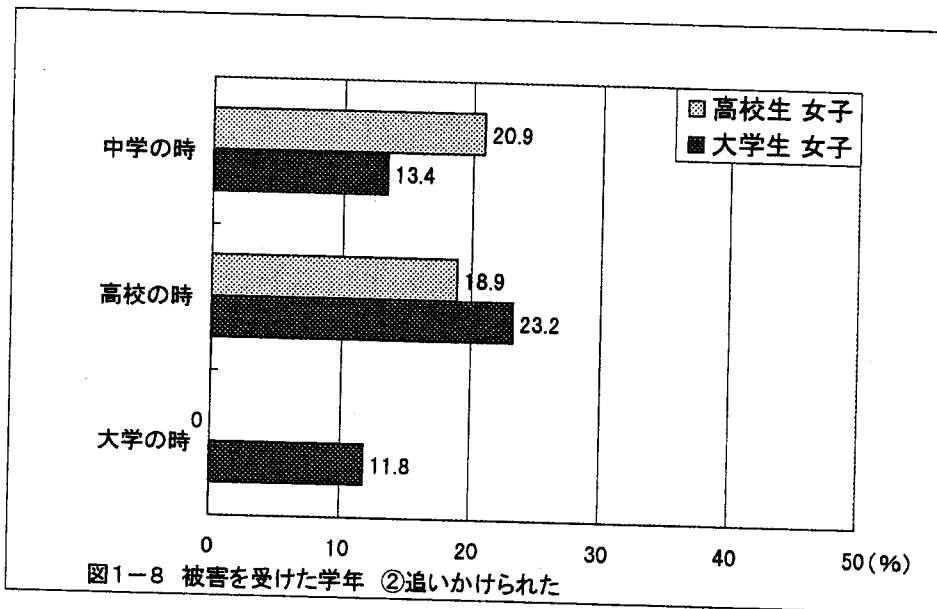
### ② 追いかける被害を受けたことがある時期

追いかける被害を受けたことがある時期は、図1-8のように、大学生では「高校の時」が2割強で最も多いが、高校生では「中学の時」と「高校の時」が約2割とほぼ同じ割合である。低年齢で被害を受ける割合の増加傾向が考えられる。

### ③ 性的なことばをかけられる被害を受けたことがある時期

性的なことばをかけられる被害を受けたことがある時期は、図1-9のように、高校生と大学生のいずれに関しても「高校の時」が2割強で最も多いが、高校生では、「中学の時」

も2割弱が多めで、被害の低年齢化が考えられる。中学・高校・大学時点ともに、総じて2割前後が被害を受けている。

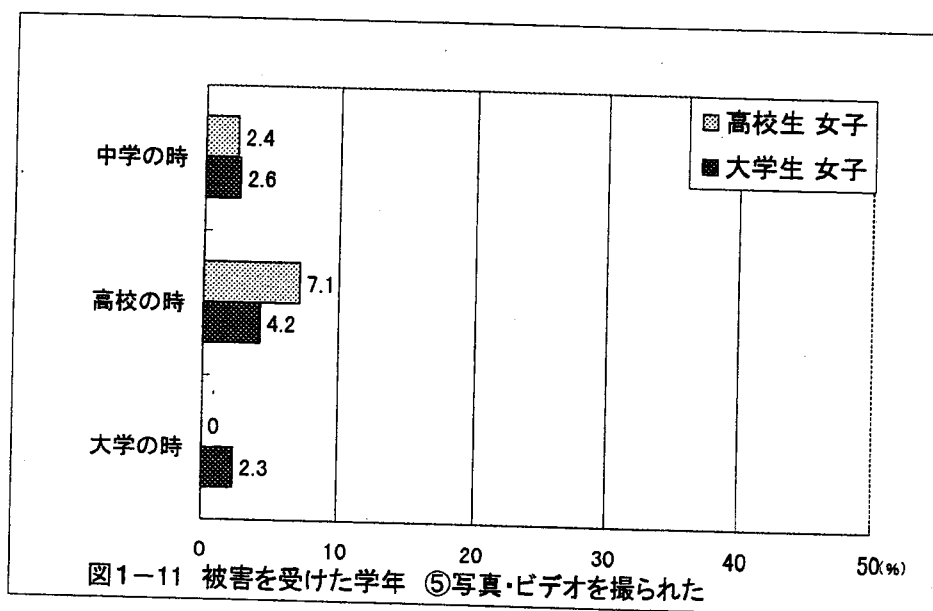
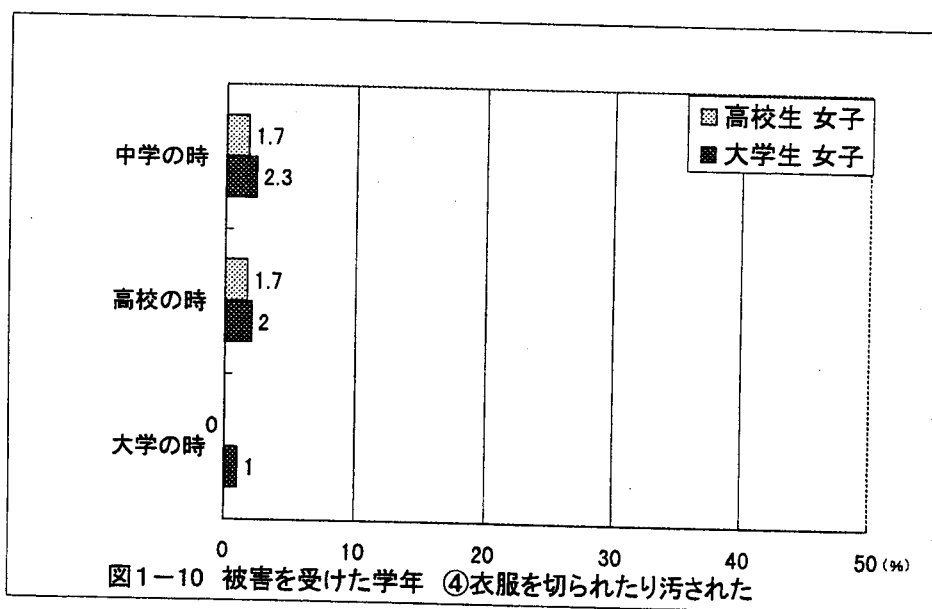


④ 衣服を切られたり汚されたりする被害を受けたことがある時期

衣服を切られたり汚されたりする被害を受けたことがある時期は、図1-10のように、高校生・大学生とも2%前後が中学・高校の時に被害を受けているが、被害の割合は全体的に少ない。

⑤ 写真・ビデオを撮られる被害を受けたことがある時期

写真・ビデオを撮られる被害を受けたことがある時期は、図1-11のように、総じて高校の時が多めであるが1割未満の割合である。また、高校の時に被害を受けたとする割合は、大学生よりも高校生で若干高めであることから、高校生の被害の割合が以前より増加している可能性がある。この結果をみると全体としては多くないが、本人が気づかないうちに被害を受けている可能性を考えると、実際の被害の割合はさらに高いと推察される。

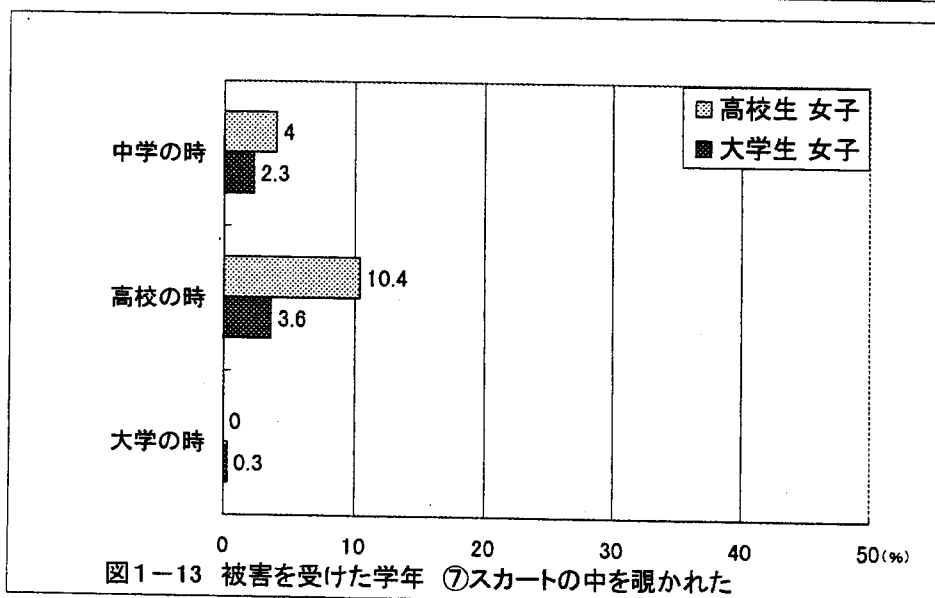
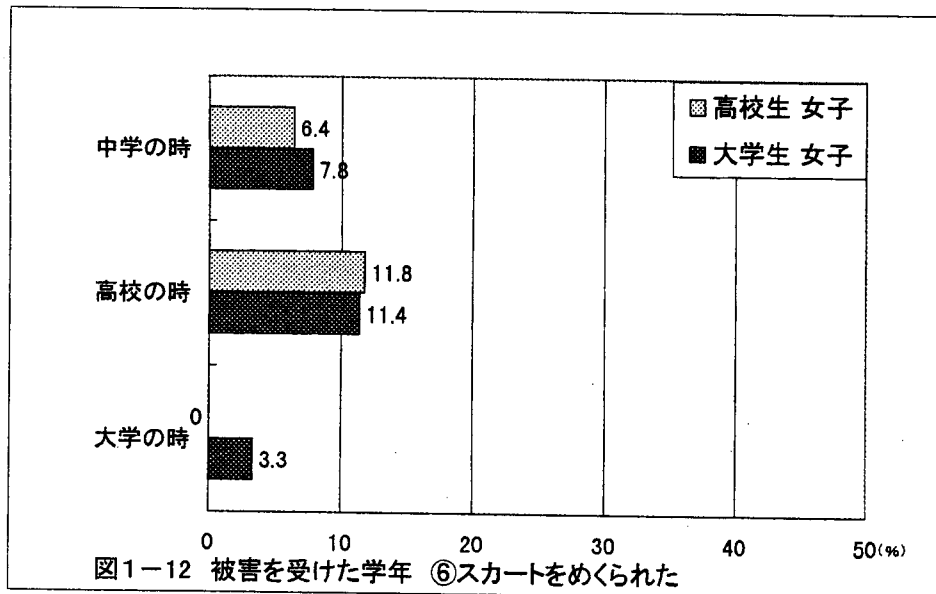


⑥ スカートをめくられる被害を受けたことがある時期

スカートをめくられる被害を受けたことがある時期は、図1-12のように、高校生と大学生がともに「高校の時」には1割を越えている。また、中学の時も、5%を越えているが、痴漢被害の中では少なめである。

⑦ スカートの中を覗かれる被害を受けたことがある時期

スカートの中を覗かれる被害を受けたことがある時期は、図1-13のように、大学生ではいずれの時期も5%未満と少ないが、高校生では高校の時が1割を越えて多い。以前よりも高校生の被害が増加している可能性がある。また、本人が気づいていない被害を含めると被害の割合は全体的にもっと高い可能性がある。



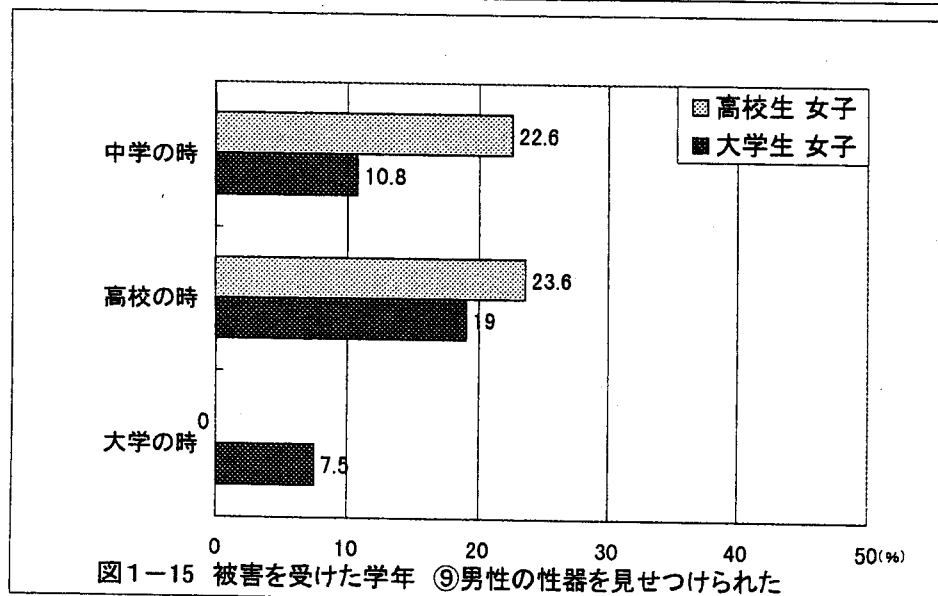
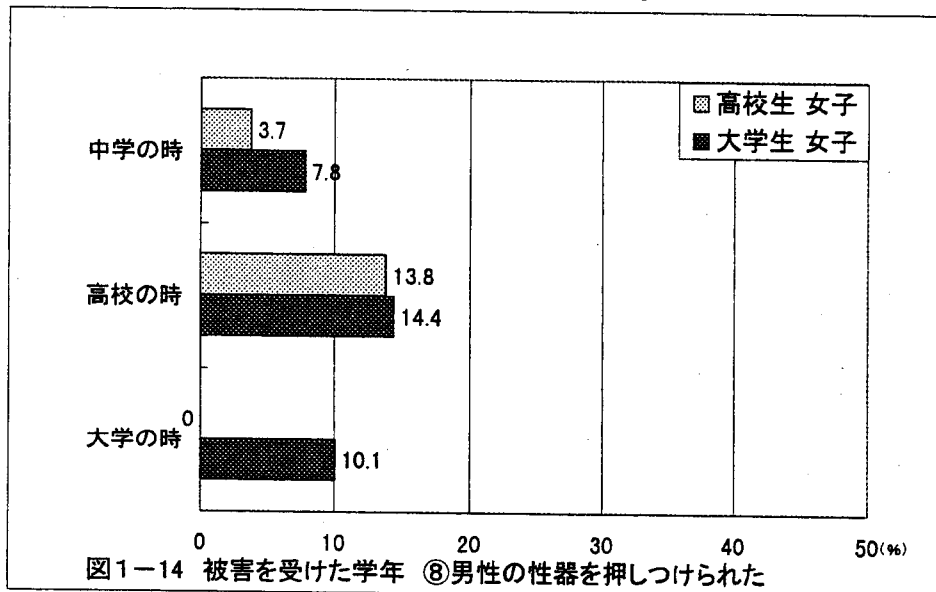


⑧ 男性の性器を押しつけられる被害を受けたことがある時期

男性の性器を押しつけられる被害を受けたことがある時期は、図1-14のように、高校生・大学生ともに高校の時が約15%と最も多い。また、中学の時をみると、大学生よりも高校生で被害が若干少なく、大学生では大学の時が約1割と多めであることから、以前より低年齢層が被害を受けにくくなる傾向があるものと考えられる。

⑨ 男性の性器を見せつけられる被害を受けたことがある時期

男性の性器を見せつけられる被害を受けたことがある時期は、図1-15のように、大学生に関しては、高校の時が2割弱、中学の時と大学の時が約1割なのに対して、高校生では、中学の時と高校の時が2割を越えて多くなっている。特に中学生が被害を受ける割合が急激に増加しており、被害者の低年齢化の傾向が考えられる。



⑩ 家の中を覗かれる被害を受けたことがある時期

家の中を覗かれる被害を受けたことがある時期は、図1-16のように、高校生と大学生のいずれにおいても2%以下と低い割合である。

⑪ 下着を盗まれる被害を受けたことがある時期

下着を盗まれる被害を受けたことがある時期は、図1-17のように、高校生と大学生の間にほとんど差はなく、いずれの時期も3%以下の低い割合である。

